

【表紙】

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成25年11月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第75期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社イクヨ |
| 【英訳名】 | IKUYO CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 神尾 裕司 |
| 【本店の所在の場所】 | 神奈川県厚木市上依知3019番地 |
| 【電話番号】 | 046(285)-2046 |
| 【事務連絡者氏名】 | 管理統括部 経理グループ シニアマネージャー 住吉 尚之 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 神奈川県厚木市上依知3019番地 |
| 【電話番号】 | 046(285)-2046 |
| 【事務連絡者氏名】 | 管理統括部 経理グループ シニアマネージャー 住吉 尚之 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第74期 第2四半期 累計期間 | 第75期 第2四半期 累計期間 | 第74期 |
|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日 | 自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日 | 自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日 |
| 売上高(千円) | 4,208,002 | 4,223,211 | 8,358,338 |
| 経常利益(千円) | 86,964 | 189,418 | 228,477 |
| 四半期(当期)純利益 | 78,449 | 168,250 | 184,744 |
| 持分法を適用した場合の投資利益(千円) | - | - | - |
| 資本金(千円) | 2,298,010 | 2,298,010 | 2,298,010 |
| 発行済株式総数(千株) | 15,385 | 15,385 | 15,385 |
| 純資産額(千円) | 947,309 | 1,318,381 | 1,129,591 |
| 総資産額(千円) | 7,208,360 | 7,225,671 | 7,138,492 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 5.11 | 10.97 | 12.04 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円) | - | - | - |
| 1株当たり配当額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 13.1 | 18.2 | 15.8 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー(千円) | 195,192 | 477,691 | 734,713 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー(千円) | 81,511 | 185,027 | 399,320 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー(千円) | 369,086 | 217,577 | 588,013 |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残 高(千円) | 549,729 | 627,601 | 552,514 |

| 回次 | 第74期 第2四半期 会計期間 | 第75期 第2四半期 会計期間 |
|------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日 | 自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額(円) | 3.11 | 7.35 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

なお、当社は、平成25年4月18日にPT. IKUYO INDONESIAを設立し子会社といたしました。四半期財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、現時点では重要性がないため、非連結子会社としております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、当第2四半期累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて、重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第2四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等により、円安・株高傾向を受けて、輸出関連企業を中心とした業績の好転等、緩やかな回復傾向となりました。一方で、回復が遅れている欧州経済、中国をはじめとした新興国の景気減速懸念等、企業を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社の関係する自動車業界では、各自動車メーカーの共通する経営戦略として、グローバル化による生産拠点の海外シフト、部品の海外調達率アップ、および調達コスト低減等、当社を取り巻く事業環境は、更に厳しい状況にあります。

このような状況のなか、当第2四半期累計期間における業績は、当社の主要取引先の中東向け販売が堅調に推移し、期初想定していた受注を大きく上回り、売上高4,223百万円（前年同期比+0.4%）となりました。収益面では、主要品目の生産の増加により利益率が改善し、継続している原価低減活動の相乗効果もあり、営業利益216百万円（前年同期比+60.9%）、経常利益189百万円（前年同期比+117.8%）、四半期純利益168百万円（前年同期比+114.5%）となりました。

(2) 財政状態

当第2四半期会計期間末の総資産は7,225百万円となり、前事業年度末に比べ87百万円増加いたしました。流動資産は2,941百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金（75百万円）その他（前払費用）（46百万円）の増加、受取手形及び売掛金（128百万円）が減少したこと等です。固定資産は4,283百万円となり87百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産の増加であり、新規取得金型の増加等により52百万円の増加となったことです。負債合計は5,907百万円となり、前事業年度末に比べ101百万円減少いたしました。流動負債は5,225百万円となり、2,328百万円増加いたしました。主な要因は、1年内返済予定の借入金の振替等により、短期借入金（2,194百万円）が増加したこと等です。固定負債は681百万円となり、2,430百万円減少いたしました。主な要因は、1年内返済予定の借入金の振替等により、長期借入金（2,406百万円）が減少したこと等です。純資産は1,318百万円となり、前事業年度末に比べ188百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金（168百万円）、その他有価証券評価差額金（20百万円）が増加したこと等です。

(3) キャッシュフローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期累計期間より77百万円(14.2%)増加し、627百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金は477百万円の収入となり、前第2四半期累計期間に比べて282百万円の収入増加(前年同期比+144.7%)となりました。これは、主として、税引前四半期純利益の増加、未払金の増減額の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金は185百万円の支出となり、前第2四半期累計期間に比べて103百万円の支出増加(前年同期比 127.0%)となりました。これは、主として、有形固定資産の取得による支出の増加によるものです。

したがって、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリーキャッシュ・フローは292百万円の黒字(収入超過)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金は217百万円の支出となり、前第2四半期累計期間に比べて151百万円の支出減少(前年同期比+41.0%)となりました。これは、主として、長期借入金の返済による支出の減少によるものです。

(4) 重要事象等について

該当事項はありません。

(5) 対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

当第2四半期累計期間の研究開発費総額は3百万円です。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 60,000,000 |
| 計 | 60,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|------------------------------|------------------------------------|-----------------|
| 普通株式 | 15,385,000 | 15,385,000 | 東京証券取引所 市場第二部 | 単元株式数 1,000株 |
| 計 | 15,385,000 | 15,385,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (千株) | 発行済株式 総数残高 (千株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|----------------------------------|------------------------|-----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成25年7月1 日~ 平成25年9月30 日 | - | 15,385 | - | 2,298,010 | - | 2,323,426 |

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|--------------|---------------------|---------------|--------------------------------|
| 日東株式会社 | 東京都江戸川区東葛西6-23-4 | 5,016 | 32.60 |
| 酒井 政賢 | 東京都目黒区 | 2,034 | 13.22 |
| ヤイズボデー工業株式会社 | 静岡県榛原郡吉田町住吉4483- 1 | 635 | 4.13 |
| 日本証券金融株式会社 | 東京都中央区茅場町1-2-10 | 380 | 2.47 |
| 中田 善夫 | 静岡県藤枝市 | 367 | 2.39 |
| 水野 弘 | 静岡県榛原郡吉田町 | 330 | 2.14 |
| クリナップ株式会社 | 東京都荒川区西日暮里 6 -22-22 | 324 | 2.11 |
| 株式会社紀文食品 | 東京都中央区銀座 5 -15- 1 | 306 | 1.98 |
| 株式会社三井住友銀行 | 東京都千代田区丸の内1-1-2 | 258 | 1.68 |
| 株式会社キッツ | 千葉県千葉市美浜区中瀬1-10-1 | 211 | 1.37 |
| 計 | - | 9,862 | 64.10 |

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|--------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 44,000 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 15,305,000 | 15,305 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 36,000 | - | - |
| 発行済株式総数 | 15,385,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 15,305 | - |

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合 (%) |
|------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| 株式会社イクヨ | 神奈川県厚木市上依 知3019番地 | 44,000 | - | 44,000 | 0.29 |
| 計 | - | 44,000 | - | 44,000 | 0.29 |

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、清和監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は平成25年4月18日に51%子会社（PT. IKUYO INDONESIA）を設立しましたが、同子会社は設立して間がなく、当第2四半期会計期間末（平成25年9月30日）現在、事業活動を開始しておりません。従って「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいため、連結財務諸表を作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次の通りであります。

| | |
|---------|------|
| 資産基準 | 0.8% |
| 売上高基準 | - % |
| 利益基準 | 0.0% |
| 利益剰余金基準 | 0.0% |

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 552,514 | 627,601 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,855,822 | 1,727,250 |
| 商品及び製品 | 94,034 | 91,165 |
| 仕掛品 | 74,568 | 85,719 |
| 原材料及び貯蔵品 | 177,981 | 163,192 |
| その他 | 187,487 | 246,840 |
| 流動資産合計 | 2,942,407 | 2,941,770 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 3,982,073 | 3,975,324 |
| 減価償却累計額 | 3,089,838 | 3,115,674 |
| 建物(純額) | 892,235 | 859,650 |
| 工具、器具及び備品 | 22,963,139 | 23,232,691 |
| 減価償却累計額 | 21,896,442 | 22,072,176 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 1,066,697 | 1,160,514 |
| 土地 | 1,323,470 | 1,323,470 |
| その他 | 4,325,595 | 4,285,553 |
| 減価償却累計額 | 4,031,619 | 3,999,955 |
| その他(純額) | 293,978 | 285,598 |
| 有形固定資産合計 | 3,576,381 | 3,629,233 |
| 無形固定資産 | 28,817 | 30,959 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 595,019 | 627,841 |
| 貸倒引当金 | 4,133 | 4,133 |
| 投資その他の資産合計 | 590,886 | 623,708 |
| 固定資産合計 | 4,196,084 | 4,283,901 |
| 資産合計 | 7,138,492 | 7,225,671 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,455,639 | 1,392,205 |
| 短期借入金 | 600,000 | 600,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 425,600 | 2,619,680 |
| 未払法人税等 | 32,007 | 23,184 |
| 賞与引当金 | 56,977 | 79,246 |
| その他 | 326,548 | 511,273 |
| 流動負債合計 | 2,896,772 | 5,225,589 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日) |
|-------------------|-----------------------|----------------------------|
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,406,880 | - |
| 退職給付引当金 | 610,520 | 578,388 |
| その他 | 94,727 | 103,312 |
| 固定負債合計 | 3,112,128 | 681,701 |
| 負債合計 | 6,008,900 | 5,907,290 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,298,010 | 2,298,010 |
| 資本剰余金 | 2,323,426 | 2,323,426 |
| 利益剰余金 | 3,649,801 | 3,481,551 |
| 自己株式 | 8,960 | 9,010 |
| 株主資本合計 | 962,675 | 1,130,875 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 166,916 | 187,506 |
| 評価・換算差額等合計 | 166,916 | 187,506 |
| 純資産合計 | 1,129,591 | 1,318,381 |
| 負債純資産合計 | 7,138,492 | 7,225,671 |

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 4,208,002 | 4,223,211 |
| 売上原価 | 3,586,113 | 3,531,211 |
| 売上総利益 | 621,888 | 692,000 |
| 販売費及び一般管理費 | 487,549 | 475,790 |
| 営業利益 | 134,338 | 216,210 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 202 | 195 |
| 受取配当金 | 6,536 | 6,898 |
| 金型精算差益 | 3,124 | 8,260 |
| 助成金収入 | 1,233 | 1,393 |
| その他 | 7,237 | 8,659 |
| 営業外収益合計 | 18,334 | 25,407 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 61,731 | 51,416 |
| その他 | 3,977 | 782 |
| 営業外費用合計 | 65,708 | 52,198 |
| 経常利益 | 86,964 | 189,418 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 458 | - |
| 補助金収入 | 8,923 | - |
| 抱合せ株式消滅差益 | 7,659 | - |
| 特別利益合計 | 17,041 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,933 | 5,039 |
| 固定資産圧縮損 | 8,923 | - |
| 特別損失合計 | 11,856 | 5,039 |
| 税引前四半期純利益 | 92,149 | 184,379 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 13,700 | 16,129 |
| 法人税等合計 | 13,700 | 16,129 |
| 四半期純利益 | 78,449 | 168,250 |

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 92,149 | 184,379 |
| 減価償却費 | 347,229 | 277,043 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 6,638 | 22,269 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 25,893 | 32,132 |
| 補助金収入 | 8,923 | - |
| 抱合せ株式消滅差損益(は益) | 7,659 | - |
| 受取利息及び受取配当金 | 6,739 | 7,093 |
| 支払利息 | 61,731 | 51,416 |
| 助成金収入 | 1,233 | 1,393 |
| 固定資産除却損 | 1,305 | 5,039 |
| 固定資産圧縮損 | 8,923 | - |
| 有形固定資産売却損益(は益) | 458 | - |
| 売上債権の増減額(は増加) | 299,607 | 128,572 |
| 未収入金の増減額(は増加) | 9,130 | 50,253 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 16,881 | 6,505 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 212,408 | 63,434 |
| 未払金の増減額(は減少) | 69,291 | 43,381 |
| 前受金の増減額(は減少) | 82,693 | 13,616 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 44,066 | 11,685 |
| その他 | 161,995 | 113,267 |
| 小計 | 255,760 | 549,608 |
| 利息及び配当金の受取額 | 6,739 | 7,093 |
| 利息の支払額 | 62,088 | 51,638 |
| 助成金の受取額 | 1,233 | 1,393 |
| 法人税等の支払額 | 6,451 | 28,765 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 195,192 | 477,691 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 76,691 | 177,918 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 2,442 | 5,714 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 801 | - |
| 投資有価証券の取得による支出 | 1,726 | 1,824 |
| 貸付けによる支出 | 4,682 | 1,970 |
| 貸付金の回収による収入 | 2,842 | 2,604 |
| その他 | 388 | 204 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 81,511 | 185,027 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | 358,400 | 212,800 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | 10,665 | 4,727 |
| 自己株式の取得による支出 | 21 | 50 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 369,086 | 217,577 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 255,405 | 75,086 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 687,038 | 552,514 |
| 合併に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 118,096 | - |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 549,729 | 627,601 |

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

1 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

| | 前事業年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------|-----------------------|----------------------------|
| 受取手形裏書高 | - 千円 | 70,000千円 |

2 四半期会計期間末日満期手形

四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、前事業年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が前事業年度末日残高に含まれております。

| | 前事業年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日) |
|----------|-----------------------|----------------------------|
| 受取手形 | 219,832千円 | - 千円 |
| 支払手形 | 183,394千円 | - 千円 |
| 設備関係支払手形 | 33,324千円 | - 千円 |

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|----------|---|---|
| 運搬費 | 254,591千円 | 240,984千円 |
| 役員報酬 | 43,347千円 | 41,923千円 |
| 給与手当 | 69,314千円 | 73,469千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 8,257千円 | 12,876千円 |
| 退職給付費用 | 4,859千円 | 3,520千円 |

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

| | 前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 549,729千円 | 627,601千円 |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | - 千円 | - 千円 |
| 現金及び現金同等物 | 549,729千円 | 627,601千円 |

(株主資本等関係)

1. 配当に関する事項
該当事項はありません。
2. 株主資本の金額の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、日本を単一のセグメントとして運営しており、これ以外に報告セグメントがないため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 5円11銭 | 10円97銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 78,449 | 168,250 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 78,449 | 168,250 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 15,341 | 15,340 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

株式会社イクヨ

取締役会 御中

清和監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 川田 増三 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 大塚 貴史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社イクヨの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第75期事業年度の第2四半期会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社イクヨの平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期財務諸表に添付する形で別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲には、XBRLデータ自体は含まれていません。